

2学期のスタートにあたって

平成23年9月1日
大阪府立茨木支援学校
校長 高塚 良則

夏季休業中、しっかりリフレッシュしていただけたでしょうか。また、しっかり研修に励んでいただけたでしょうか。私も大阪自立活動研究会や近肢研に参加しました。本校からもたくさんの先生が研修を受けておられました。

研修に努め専門性を高めても、それが子どもたちに還元されなければ、あまり意味のないものになってしまいます。ぜひ明日からの教育活動の中で生かしていくことを考えてください。また、都合があって研修に参加できなかった先生も多くおられると思います。この研修は非常に有効であったというものは他の先生と（特に経験の浅い先生に）情報を共有化できるようにしてください。

さて、1学期も多くの行事がありました。2学期も体育大会や银杏祭、修学旅行を始め、多くの行事があります。昨年度末に行事の精選等の反省が出ていました。総論賛成、各論反対ということにならないように、例年やっているから今年もやるということではなく、もう一度行事の本来の意味を考えてください。そうして、その行事自体と全体のバランスも考えて、子どもにとって本当に必要ならやれば積極的に実施し、もし必要度が低いと思われるなら思い切ってやめましょう。

最後に8月13日に小学部の児童が亡くなりました。ご冥福をお祈りします。

残念なことに、昨年度3名、今年2名と連続しています。もうこれ以上悲しい思いはしたくありませんが、本当に数日前まで元気であった児童生徒が突然亡くなるということは、重い障がいのある児童生徒を受け入れている支援学校のさだめなのかもしれません。

私も、養護学校で担任をしていた時、担当している生徒を数名亡くしました。その度に、非常に悲しい思いをしました。と同時に、自分がやっている授業や教育活動を亡くなった子どもたちは十分に満足してくれていたのだろうか？そのための努力を自分はやれたのだろうか？その都度反省する気持でいっぱいになります。

ぜひ一度、自分自身の授業や教育活動で、子どもたちがどれだけ満足し、理解、納得しているのかを問い直しませんか。

今日から子どもたちが元気に登校してきました。まだまだ暑さも残っています。生徒も先生も熱中症には十分気をつけてください。

以上